### ためらわず救急車を呼んでほしい症状

# 突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!

### 顏

- ●顔半分が 動きにくい、 しびれる
- ●笑うと□や顔の 片方がゆがむ
- ●ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- ●周りが二重に見える



突然の激しい頭痛

- ●突然の高熱
- 急にふらつき、 立っていられない

品質

- 突然の激痛
- ●急な息切れ、呼吸困難
- ●旅行などの後に 痛み出した
- 痛む場所が移動する

- ●突然のしびれ
- ●突然、片方の腕や足に 力が入らなくなる

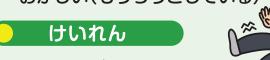
## おなか

- 突然の激しい腹痛
- ●血を吐く

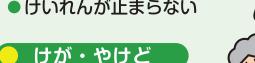
●冷や汗を伴うような強い叶き気

### 意識の障害

● 意識がない(返事がない)又は おかしい(もうろうとしている)



けいれんが止まらない



- ●大量の出血を伴うけが
- ●広範囲のやけど



●物をのどにつまらせた

飲み込み

吐き気



### 事故

●交通事故や転落、転倒で 強い衝撃を受けた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎ 高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

# 迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう!

※救急車の数には限りがあります。緊急に医療を受ける必要のある人が救急車の対象 であることを理解し、良識ある利用に努めましょう



救急車を呼ぶときの番号は「119番」です。

救える命を救うためには、<mark>応急手当</mark>が重要です。 応急手当が必要な場合は、119番通報を受けた通信 指令員等から、適切な応急手当のお願いと、口頭での 指導を行う場合があります。 A E Dを誰かに 持ってきて もらってください

救急車が到着するまではどうしても時間がかかります。 いざというときに、大切な方を救うためにも、 正しい応急手当を身につけておきましょう。



お近くの消防署では応急手当の講習を行っています。 消防署の電話番号は、市役所等のホームページなどで 調べることができます。

応急手当をしている人以外にも 人手がある場合は、 救急車の来そうなところまで案内に出ると 到着が早くなります。



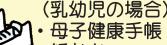
平均8.1分 (令和3年中)

救急車を呼んだら、こんな物を用意しておくと便利です。

- ・保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬 (おくすり手帳)









- ・ほ乳瓶
- ・タオル



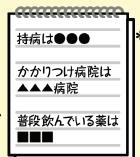






救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- ・事故や具合が悪くなった状況
- ・救急隊が到着するまでの変化
- ・行った応急手当の内容
- ・具合の悪い方の情報 (持病、かかりつけの病院やクリニック、 普段飲んでいる薬、医師の指示等)



\* 持病、かかりつけの病院 やクリニックなどは、 日頃からメモにまとめて おくと便利です。